

## 震災支援にゅーす ③号

# 医学生の東北震災支援つづく

～在阪大学から2名参加!!～

2014年9月7日(土)、医療福祉生協連近畿ブロックの宮城県県南定例支援が行われ、大阪民医連から医学生2名(大阪大学2年)、(大阪市立大学1年)が参加しました。

### 初めての血圧測定

今回の支援では、公民館での健康チェックで血圧測定や問診を取ったり、現地の組合員さんたちと一緒に脳トレ体操や茶話会に参加しました。初めての血圧測定に緊張しながらも、一生懸命現地の方の声に耳を傾ける医学生の姿が印象的でした。

午後からは、被災者の方から被災体験を話してもらいました。大変な喪失体験から、支援者との関わり中で少しずつ立ち直られたことが、支援者への感謝の言葉とともに語られました。

### 今後も継続して関わりたい

今回支援に参加した学生からは、「被災地の復興はある程度順調に進んでいると思っていたが、関上地区などほとんど復興の進んでいない地域があることに驚いた」「地元の方の話から、そのような状況で生きる気力を失っている地域の方に自分達ボランティアが行動することで、気持ちが伝わり、気力を与えられればいいなと思う」(Hくん市大1年)、「現地の方からのお話を伺って、現地の方々の心情、思いに少しだが触れることができた」「今後も継続して関わりたい」(Tくん阪大2年)などの感想が出され、支援を通じて被災地の状況に触れ、今後の継続した支援への参加が表明されるなど、貴重な機会となりました。